

# 手づくり灯籠に願いを込めて

## 第20回 仙了川流灯まつり（前編）

平成28年7月16日（土） 曾比公民館（準備） 主催：仙了川流灯まつり保存会



特別に最後の工程までつくって見せていただいた。まず枠は、厚紙で灯籠の骨組みのパーツをつくって組み合わせ、ホッチキスでとめる。次に、枠に障子紙をぐるりと貼り付ける。乾いたらスプレーで着色して、願い事と名前を墨汁で書く。発砲スチロールの土台にしっかりと接着し、最後にろうそく置きをつけ完成。「字はうますぎてダメ。子どもたちが書いたほうがいいかんじだよ。」



吉田信雄さんは小学生のお孫さんと灯籠作りに参加。お子さん連れでも保存会のメンバーが丁寧に教えてくれる。



保存会会長の配島克彦さん。「保存会以外の、近隣の方や小学生なども手伝いに来てくれるのがうれしいです。」

「仙了川流灯まつり保存会」メンバー募集中！

『仙了川流灯まつり』は20年前に老人会ではじめ、10年前に保存会ができ、活動をひきつぎました。お手伝いいただける方、お若い方も歓迎です。☎0465・36・0720（配島）



平成28年度 第20回

### 仙了川流灯まつり

8月16日（火）19～20時

場所：仙了川 曾比公民館前

お問合せ：仙了川流灯まつり保存会

☎0465・36・0720（配島）

曾比では、毎年8月16日に『仙了川流灯まつり』が行なわれている。願い事を書いた手づくりの灯籠を、曾比公民館前の新河原庭橋から仙了川に浮かべ、約700メートルの距離を流すのだ。

灯籠は、まず厚紙で枠を作り、そこに障子紙を貼り付ける。そこへスプレーで着色をし、願い事や名前を墨汁で書く。保存会のみなさんは準備のためにこの三つの工程を一ヶ月前の7月16日から始め、23日、30日の3日をかけて、250個の灯籠を作る。

この日は、初日の枠組みづくりの日。「内職をしているみたいだ」と冗談を言いながらも、慣れた手つきで次々に枠を積み上げていく。本番までの準備は残り二回。ちなみに、二日目（23日）は障子紙貼り、三日目（30日）に着色と字入れを行うのだが、三日目は毎年近所の小学生たちも楽しみにしていて、たくさん集まるそう。

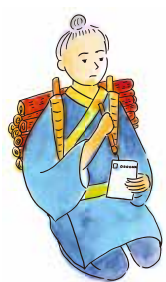
自分たちで色を塗って、願い事を書いた灯籠を流すのが子どもたちの夏の思い出になるなんて最高ではないか。

8月16日の本番に、子どもたちの願いがこめられた250個の灯籠の灯りが川面を照らしながら流れていくのを見るのが、今から楽しみだ。

おとなりさん 小田原川柳大賞

## 第一回受賞作品

昨年行われた第一回は「小田原地名を入れてください。」というテーマで215作品のご応募をいただきました。大賞、優秀賞は、その中からそれぞれの審査員が選んだこの4作品に決定しました。ぜひ今年の参考になさってください。



審査は作品のみを各審査員個別にお渡しし、厳選なる審査を行いました。「メルモ」さんが二作品で優秀賞を受賞していますが、そうした厳正なる審査の結果ですので、ご了承ください。

大賞 おとなりさん編集部選

浜町の我が家の目印かまぼこ屋

りゅう 小田原市 32歳

優秀賞 柳家三三選

根府川に小さな太陽実る冬

メルモ 小田原市 50歳

優秀賞 椰月美智子選

浜町で五十路の私を「ひろみちゃん」

メルモ 小田原市 50歳

優秀賞 FMおだわら選

幸が万年続く街であれ

口笛太郎 愛知県 51歳